

放課後等デイサービス キッズボンド柳森 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			密にならない様に配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2	4	送迎範囲が広く、送迎できる職員の配置を工夫している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4		入口玄関に8cmほどの段差があるが、車いすの利用者が居ないので問題なし。居ないので問題なし。必要ならばスロープを配置できる。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1		受け入れ前ミーティングや職員会議にて話し合いながら進めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1		送迎時や、事業所内相談、モニタリング時等で御意見をお聞きし、柔軟に対応する様努力している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	4		年1回集計し、ホームページにて公表
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	3		市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			毎月1回以上研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			相談支援専門員や公認心理士と連携を取り検査結果や保護者、本人の意向を通して支援計画書に反映させるようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9			キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			職員間で話し合って決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		幅広い学習支援を行う様に活動プログラムを立てている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2		本人や保護者のニーズに応じて対応している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		学習内容によって個別支援で対応している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			受け入れ前ミーティングによって支援内容や役割分担等確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2		個人記録を記入し、振り返りを行い、情報共有している。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1		毎回個人記録を取ることを徹底し、職員間で共有。また、問題点があれば検証し改善にむけての話し合いをしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1		原則、半年に一度モニタリングを行っている。必要であれば、前倒して実施する。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8	1		学習に特化した支援ではあるが、自立支援につながる活動も行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			児発管、公認心理士が参加し、職員全員に周知するよう共有している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			保護者とは連絡帳やメール、電話を通して、学校とは必要に応じ連絡を取り、適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	4	医療ケアが必要な児童を受け入れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	7		該当児童無し。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	7		希望があれば可能。 該当児童なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	6	今のところ、障害のない児童との交流は行っていないが、公共の場へ出かけることはある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	6	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	2	4	必要に応じて情報共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	3		事業所内相談支援時を活用している。
保護者への説	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時に重要事項の説明として細かな説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			都度事業所内相談を行う様にしている。

明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3		父母同士の連携を望まない方もいらっしゃるのでは希望者がいれば開催していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			その都度迅速に対応するようにしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			毎月通信や活動予定表を発行し、Facebookで日々の様子をお知らせしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	9			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	6	このようなイベントを行ったことがない。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	4		書類にしているが、まだよくわかっておられない保護者にはこれから周知していく予定。
非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	4		
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	2		身体拘束については契約時に重要事項として説明をし了解を得ており、運営規定に記載している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	7		指示書のある児童がいない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3		事業所内だけでなく、グループ全体で共有している。